

# きずな

2022 **7** July

今号の題字

西都市立妻中学校 3年

山本 智奈実さん



## 「虹舞(にじぶま)」

西都市立妻中学校(宮崎誠校長・生徒506名)は、古代ロマン溢れる西都原古墳群の麓にあり、歴史と伝統を誇る学校です。明るく素直な生徒たちが、校訓「真実を求め、真実を語り、真実を行う」のもと、授業や様々な学校行事、部活動等、日々意欲的に取り組んでいます。特に本年度は、生徒会が掲げるスローガン「虹舞(こゝろ)〜個性を貫き空へ舞え〜」を旗頭に、生徒主体による魅力ある学校づくりに取り組んでいます。

スローガンには、「自分の個性も相手の個性も大切にし、『自分』をもてる人になる」という目標や誓いが込められています。今後も、生徒たちを真ん中に、保護者・教職員・地域の方々とスクラムを組んで絆を育んでいきます。

【教頭 鈴木一成】

## CONTENTS

- ② 宮崎県PTA連合会定期総会
- ③ 宮崎県PTA連合会役員紹介
- ④ 国内研修  
コラム「親がめ子がめ」
- ⑤ 「子育て10か条」イラスト募集  
こども110番
- ⑥ トピックス「椎葉村立椎葉中学校」  
編集後記



宮崎県PTA連合会  
ホームページ



編集・発行：宮崎県PTA連合会

発行責任者：岡本 吉弘

宮崎市旭1丁目3-10 婦人会館2階 Tel:0985(22)3081 FAX:0985(20)9443

http://www.miyazakikenpta.com E-mail: mken-pta@io.ocn.ne.jp

# ふるさとと椎葉を愛し、生涯にわたって椎葉と関わりをもつ生徒の育成

【椎葉村立椎葉中学校】（有田勝則校長 生徒数55名）

椎葉村は、宮崎県の北西部、九州山地の中央に位置し、広大な総面積のうち山林が96%を占める自然豊かな中山間の村です。「日本三大秘境」の一つとしても知られ、先祖代々から、神楽や民謡が脈々と受け継がれ、伝統文化の発祥の地と呼ばれています。

村の自然や産業に学ぶ」というテーマのもと、村内の職場訪問やフィールドワークを通して自然や産業について学び、それをパンフレットにまとめ、修学旅行のPR活動に繋がっています。

2年生は「椎葉村の人に学ぶ」椎葉村で活躍する人に学ぶ」というテーマのもと、村内で働く人の生き方をライフヒストリーという形で学び、その学びを職場体験活動や立志式での発表に繋がっています。

3年生は「椎葉村のために学ぶ」椎葉村の未来について発信する」というテーマのもと、SDGsの視点から椎葉村の課題について学び、椎葉村の未来について考える会議などに参加しながら自分の考えをまとめ、将来の椎葉村と自分の関わり方について発信していく学習に繋がっています。

学習には、3名のキャリア教育サポーターの方々や村内の数多くの事業所及び

そこで働く人々の協力を得ることができています。椎葉村の子どもたちを、村全体で育てていこうという温かい雰囲気なのか、生徒は伸び伸びと「ふるさとを愛する心」を育てています。【校長 有田勝則】

〔PTA文集「かすがい」の発行〕

本校はPTA文集「かすがい」を発行しています。1学期は1年生、2学期は2年生、3学期は3年生と年に3回発行し、令和3年度で136号になりました。約45年続いている伝統的な活動です。この文集は、生徒の作文に加え、保護者も「我が子に願うこと」や「旅立ちの時」などのタイトルをつけて、我が子への思いを綴る親子文集です。我が子への愛情溢れる文章は、読むと温かい気持ちになります。伝統あるこのPTA文集を今後も発行し続けていきたいです。【PTA会長 椎葉友和】